

行研へのいざない ～目標を持とう！～

国家試験指導センター行政研究所

所長 西川 伸一

(政治経済学部教授)

ロシア革命の指導者レーニンは本名ではありません。ペンネームです。レーニンの由来は「レニーフツィン」というロシア語にあるそうです。これは「怠け者」を意味します。レーニンは自らを「怠け者」と名乗ることで、易きに流れがちな己を叱咤したのです。

確かに、私たちは理由をつくっては怠けようとしません。きょうは雨降りだから、どうせ電車が遅れるだろうから、1限はさぼってしまえ。きょうは気が乗らない（実際にはみたいテレビがある）から、レポート作成はあしたにしよう、などなど。

しかし、強い目標があれば、そんな言い訳はしないはずです。みなさんの受験生時代を思い出せばすぐに合点がいくことでしょう。幸か不幸か、大学はみなさんにそのような目標を具体的には提示しません。それを自分自身でみつけることこそ、大学で学ぶ意味なのです。

そうはいつでも、目標は自分でみつける気がなければ、決してやってきません。結局、大学に入ってから1・2年間を、ずるずると過ごしてしまう学生が少なからずいます。たとえば、私の所属する政治経済学部では2年次の11月にゼミ入室試験が行われます。私のゼミを志願する学生の中には、すかさずの身上書を堂々と提出してくる“つわもの”が必ずいるのです。彼らの身上書を見るたびに、この学生は書くことがないほど無為な学生生活を送ってきたのだろうか、私は深いため息をついてしまいます。

まず目標を持ちましょう！それが己を律してくれます。仮に、自分は将来公務員になるのだ、と決意したとします。そのためには公務員に採用されるための試験を突破しなければなりません。試験科目は多岐にわたります。早く準備しておくにこしたことはありません。卒業時の自分のあるべき姿から逆算して、いま「なにをなすべきか」。イメージがわいてくると思います。

行政研究所(略称・行研ぎょうけん)は、そのようなみなさんのペースメーカーになります。公務員予備校のプロ講師が行研講師として、授業や学習指導を通じて、みなさんの目標達成を全力で支えます。行研生専用の自習室や事務局体制も整っています。さあ、行研に入室して、目標のある充実した学生生活を送ってみませんか。

2017年4月1日